

# 保証書

持込修理

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

DCサーキュレーター	品番 RAFC-R14J2
★お客様お名前 様	
★ご住所 〒	★電話番号 ( ) -
保証期間 ★お買上げ日 年 月 日から 本体……………1年間 (ただし、付属品を除く)	★取扱販売店名, 住所, 電話番号

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
  - イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  - ロ. お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
  - ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
- 業務用としての使用、車両・船舶への搭載等一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
- ホ. 本書の提示がない場合。
- ヘ. 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- ト. 消耗部品の交換 } 等  
仕様変更
- 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や、出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、下記の「お客様相談室」にお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

●修理メモ

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、18ページの「修理サービスについて」の項をご覧ください。

## 株式会社ヤマダホールディングス

【お客様相談室】 TEL 0120-258-260 (無料)

〒370-0841 群馬県高崎市栄町1番1号  
受付時間：午前10時～午後9時（元日のみ休日）

Y11

# 取扱説明書

# RIAIR

## DCサーキュレーター

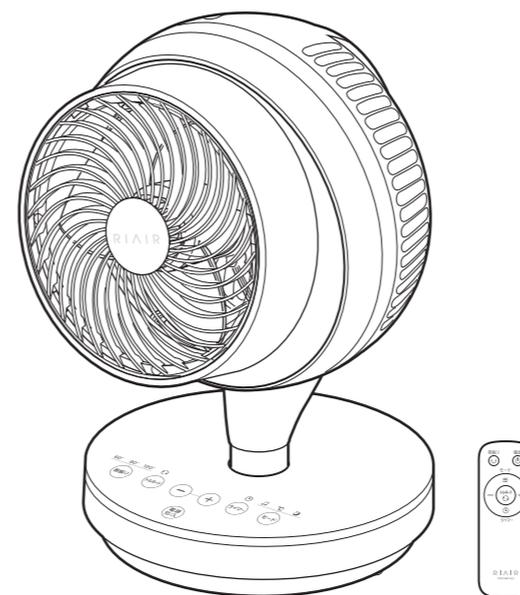
## 品番 RAFC-R14J2

一般家庭用  
(業務用としては使用しないでください)

保証書付 (裏表紙)

お買上げまことにありがとうございます。

- この「取扱説明書(保証書付)」をよくお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。特に1~4ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。  
**This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.**



取扱説明書(保証書付)・本体には商品の色記号の表示を省略しています。包装箱に表示している品番の( )内の記号が色記号です。

## もくじ

ページ

お使いになる前に	
安全上のご注意	1~4
各部のなまえ	5~6
リモコンについて	7
設置する	8
使いかた	
使いかた	9~13
●運転の前に	9
●運転を開始/停止する	9
●消灯機能	10
●風量を調節する	10
●首振り運転をする	10
●トルネード運転をする	10
●モード運転をする (リズムモード・自動運転モード・おやすみモード)	11
●タイマーの設定をする	12~13
●上下の風向きを調節する	13
長くご愛用いただくために	
お手入れと収納のしかた	14~15
故障かな?と思ったら	16
仕様	17
長期使用製品安全表示制度に基づく 本体表示について	17
愛情点検	18
修理サービスについて	18
保証書	裏表紙

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。その表示と意味は、次のようになっています。

●この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

 <b>警告</b>	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 <b>注意</b>	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

●本文中の絵表示の意味です。

 〇は、してはいけない「禁止」の内容です。	 一般的な禁止	 分解禁止	 接触禁止
 ! は、必ず実行していただく「強制」の内容です。	 水場での使用・保管禁止	 ぬれ手禁止	 水ぬれ禁止
	 ! 必ず行う	 電源プラグを抜く	

## 警告

 電源コード・電源プラグ・電源アダプターは乱暴に取り扱わない 電源コードまたは、電源プラグ・電源アダプターを傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、束ねて使用する、挟み込む、ステップルや釘などで固定する、などをしない。 感電・ショートによる発火の原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。	 電源コード・プラグ・電源アダプターが傷んでいたり、熱くなったときやコンセント・プラグのさし込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因となります。
 スプレー(可燃性)などを吹きかけたり、スプレー缶を近くに置かない 火災・爆発の原因となります。	 羽根・ガードを取り付けずに運転しない けがの原因となります。
 持ち運び時、収納時に電源コードを引っ張ったり・引きずらない 電源コードが断線してショート・感電・火災の原因となります。	 直射日光の当たる場所や発熱器具の近くに置かない 樹脂部分が溶けて発煙・発火・火災の原因となります。
 同梱の専用電源アダプターを本製品以外に使用しない 火災・感電の原因となります。	 ガードやすき間にピンや針金などの金属物、異物を入れない 感電・けが・故障・破損の原因となります。

## 警告

 入タイマー設定中は、羽根・ガードに触らない けがの原因となります。	 本製品専用の部品、リモコン以外使用しない やけど・けが・故障の原因となります。
 風をストーブなどの燃焼器具に向けて使用しない 不完全燃焼や炎の飛散により、一酸化中毒・故障・火災の原因となります。	 電源コード・電源アダプターにベースや重いものをのせない 電源コードが断線してショート・感電・火災の原因となります。
 子供や不慣れなただけで使用させたり、子供の手の届くところで使用しない、保管しない 感電・けがの原因となります。	 絶対に改造、分解をしない 改造はしない。また、修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない。 火災・感電・けがの原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。
 コードを突っ張った状態で使用しない コードが断線してショート・感電・火災の原因となります。	 ! 異常・故障時には、ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く 使用を続けると、発煙・発火・火災・感電・けがのおそれがあります。 <異常・故障例> ●本体が変形したり、異常に熱い。 ●電源コード・電源アダプター・電源プラグが変形・変色・損傷している。 ●電源コードの一部・電源アダプター・電源プラグ・モーター部・操作部がいつもより熱い。 ●電源コード・電源アダプター・電源プラグを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●異常なおいや音、振動がする。 ●ビリビリと電気を感じる。 ●電源切/入ボタンを押しても動かない。 ●羽根の回転が異常に遅いまたは、不規則になる。 ※お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」に点検、修理を依頼してください。
 浴室など高温多湿の場所や水のかかる場所では使用しない、保管しない 絶縁劣化による感電・漏電火災・事故の原因となります。	
 ぬれた手で本体を操作したり、電源プラグを抜きさししない ショート・感電・けがの原因となります。	
 本体・リモコン・電源アダプターに水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない 感電・ショート・発火・故障の原因となります。	 ! 電源は交流100Vのコンセントを単独で使用する 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火・火災・感電の原因となります。
 電源プラグは清潔にする 電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着している場合は、乾いた布で拭き取ってください。発煙・発火・火災の原因となります。	 ! 包装用ポリ袋は子供の手の届かない場所に保管する 誤って顔にかぶったり、巻きついたりして窒息し、死亡の原因となります。
 電源プラグはコンセントの根元までしっかりさし込む さし込みが不完全な場合、発煙・発火・火災・感電・ショートの原因となります。	 電源プラグを抜く お手入れ・持ち運び・収納の際は、必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く 不意に動作してけがをしたり、感電・発火・火災・故障の原因となります。

お使いになる前に

お使いになる前に

## 警告

-  電池は誤った使いかたをしない
    - 指定以外の電池を使わない
    - 違う種類の電池や、古い乾電池と新しい電池を混ぜて使用しない
    - 乾電池は充電しない
    - 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
    - ⊕と⊖を針金などで接続しない
    - 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
    - 極性(⊕と⊖)を間違えない
    - 被覆のはがれた電池は使わない
- 取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因となります。

-  電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする
  - 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
  - 液が身体や衣服についたときは、皮膚の炎症やけがの原因となりますので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。
-  使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す
 

そのままリモコンの中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因となります。

## 注意

-  羽根に貼ってあるラベルは絶対にはがさない
 

事故防止のために法律で定められた表示です。
-  本体の上に腰掛けたり、のったりしない
 

けが・故障の原因となります。
-  テレビ・ラジオ・補聴器などの近くで使わない
 

電波障害の原因となります。
-  破損した羽根・ガードは使わない
 

けがの原因となります。
-  掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹きつけない
 

変質・破損などによりけがや事故の原因となります。
-  暖房器具などの吹出口の前で使用しない
 

発火の原因となります。

-  業務用として使用しない
 

本製品は家庭用として設計・製造されています。業務用としての使用は、絶対しないでください。
-  ガードに髪や衣類などを近づけない
 

髪などが巻き込まれ、けがをすることがあります。
-  ガードを布・袋などで覆ったり、風の流れをさえぎるようなものの周囲で使用しない
 

過熱により故障の原因となります。
-  リモコン受信部をかくさない
 

障害物があるとリモコンによる操作ができなくなります。
-  左右風向き調節は、無理に手で回して行わない
 

けが・故障の原因となります。
-  リモコンを落としたり、踏んだり、液状のものをかけない
 

故障の原因となります。

## 注意

-  お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない
 

製品の変質や劣化による故障・破損・けがや事故の原因となる場合があります。お手入れはぬるま湯か台所用中性洗剤などを使用してください。

※洗剤の種類によっては、台所用中性洗剤でもプラスチック(樹脂)に使用できないものがありますので、洗剤の注意書きをよくご確認ください。プラスチック(樹脂)に使用可能な洗剤でも、洗剤分が残っていると、化学作用によりプラスチック(樹脂)を侵し、破損してけがや事故の原因となる場合がありますので、お手入れ後洗剤分が残らないようしっかり拭き取ってください。

-   ガードの中や可動部へ指などを入れられない
 

重大なけがをする原因となります。とくに子供には注意してください。

-  電源コードが破損した場合には、危険が生じないようにするために、お買い上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。

-  本体は、水平で安定した場所に設置する
 

不安定な場所で使用すると、転倒してけが・故障の原因となります。

-  上下風向き調節は、運転を停止してから行う
 

けが・故障の原因となります。

-   電源プラグを抜く
 

電源プラグを抜くときは、電源コードや電源アダプターを持たず、電源プラグを持ってまっすぐ引き抜く。感電・ショート・発火・火災の原因となります。

-  次の場所では使わない
  - 綿ぼこり・砂ぼこり・金属粉の多いところ
  - 火気の近くやガスレンジなど炎の近く
  - 屋外や雨・水しぶきのかかる場所
  - 高温(40℃以上)・低温(5℃以下)・多湿になる場所
  - キッチンや工場などの油・油煙が発生する場所
  - 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などの引火性のものや引火性ガスがある場所
  - 直射日光など、強い紫外線のあたる場所
  - 油や薬品を使用する場所

感電・ショート・火災や爆発のおそれがあります。また、事故や故障の原因となります。

-  カーテンなどの障害物の周辺や不安定な場所では使用しない
 

不安定な場所や首振りなどをさまたげる障害物があると転倒し、羽根破損・けがの原因となります。

-   運転停止直後はモーター軸が熱くなっているので、お手入れをしたり直接接触したりしない
 

接触禁止

-  市販の保護ネットを取り付けるときは、たるみがないようにする
 

市販の保護ネットは、たるみがあるとガードに吸い込まれ、羽根の破損・けがの原因となります。

-  本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する
 

羽根やガードが外れたり、落下によりけがの原因となります。

-  コンセントの周りは清潔にする
 

絶縁劣化による感電・漏電火災・けがの原因となります。

-   使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
 

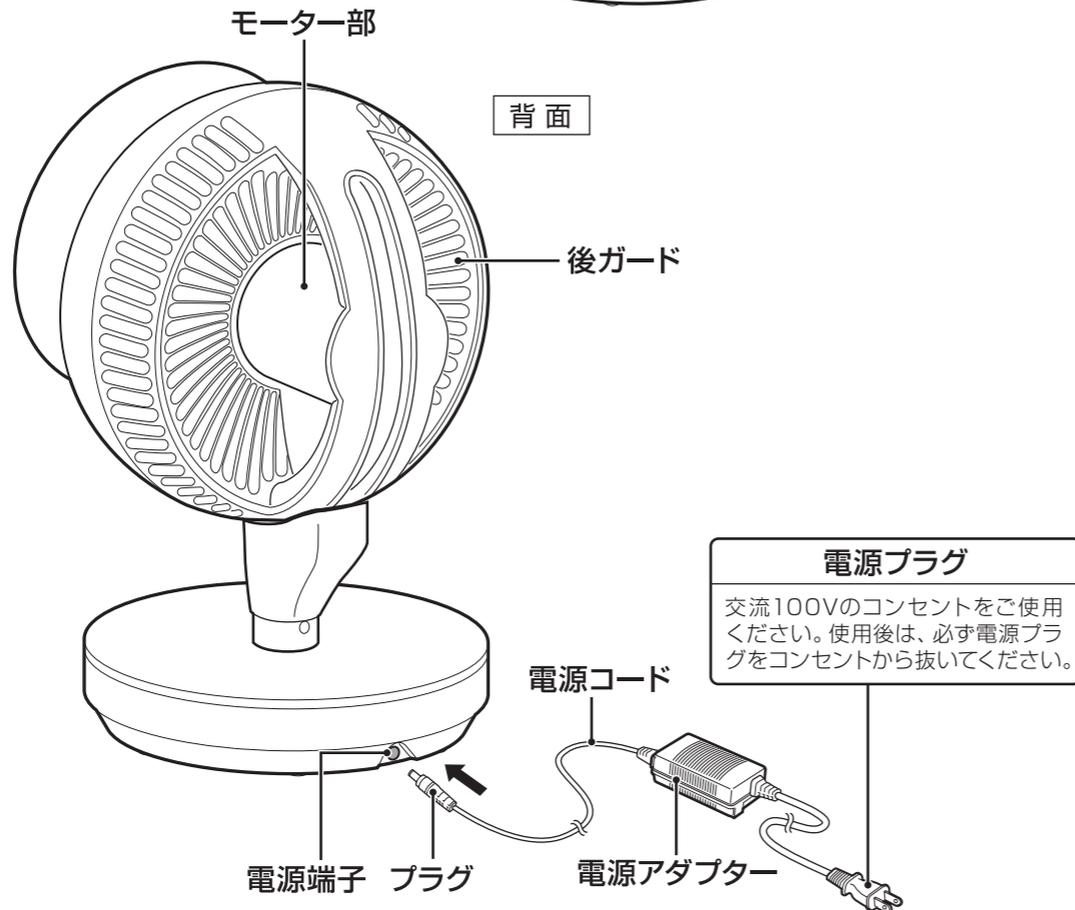
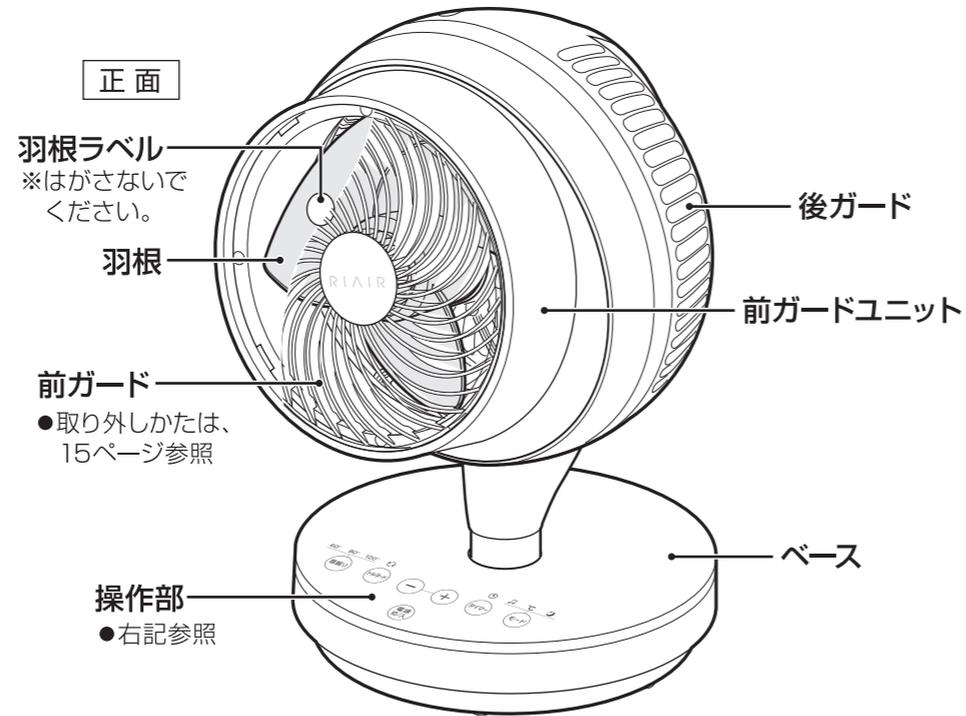
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。

お使いになる前に

お使いになる前に

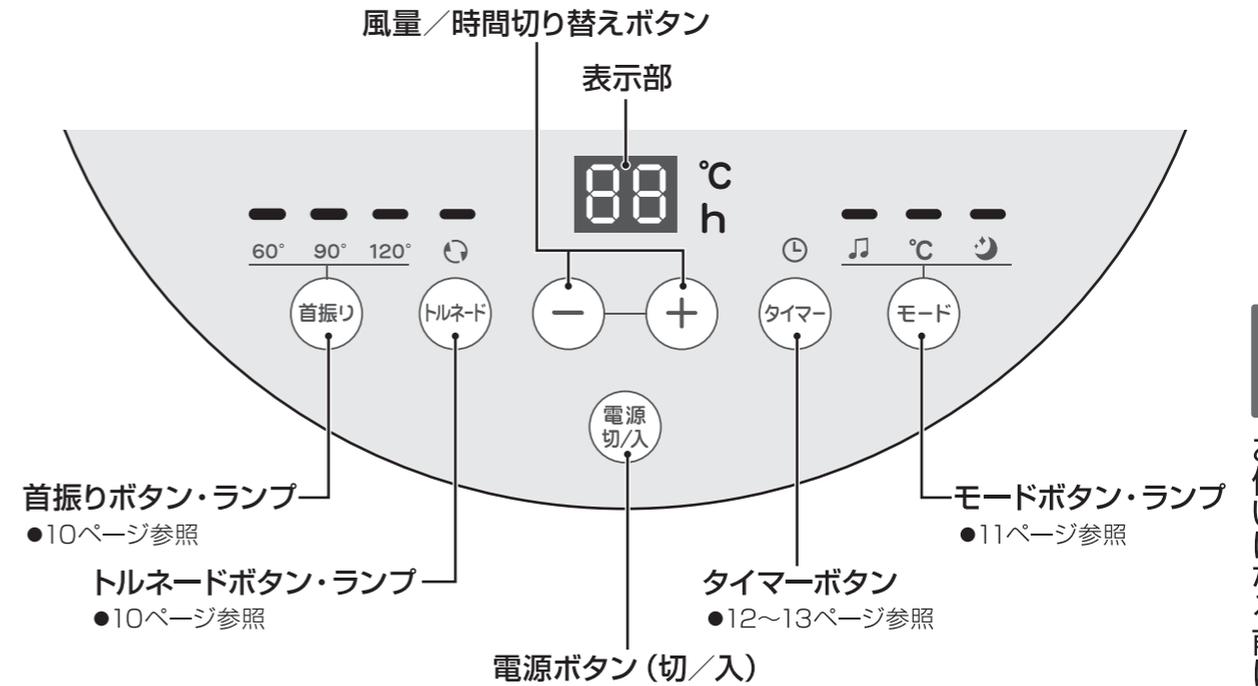
# 各部のなまえ

## 本体



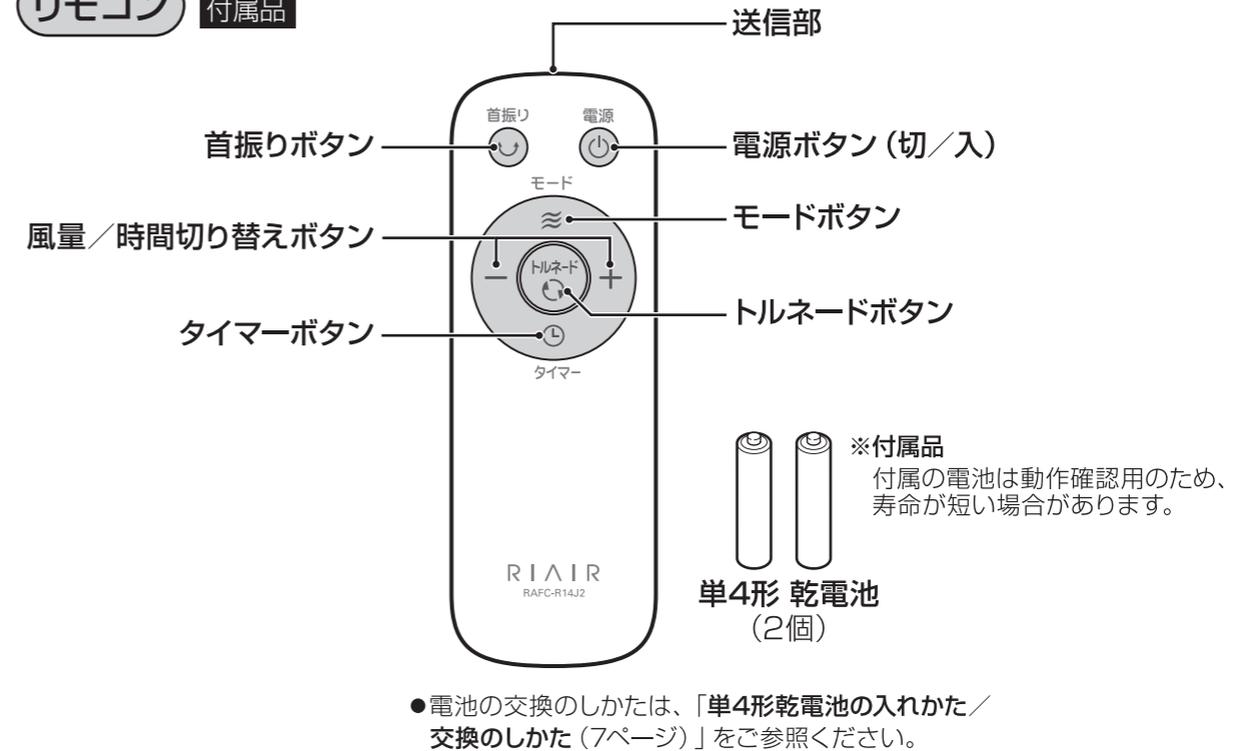
## 操作部

※表示部/ランプは説明のため、すべて点灯させております。



## リモコン

付属品



お使いになる前に

お使いになる前に

# リモコンについて

## 単4形乾電池の入れかた／交換のしかた

### 警告

#### ● 電池は誤った使いかたをしないでください。

- 指定以外の電池を使わない
- 違う種類の電池や、古い乾電池と新しい電池を混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に保管しない
- 極性(⊕と⊖)を間違えない
- 被覆のはがれた電池は使わない

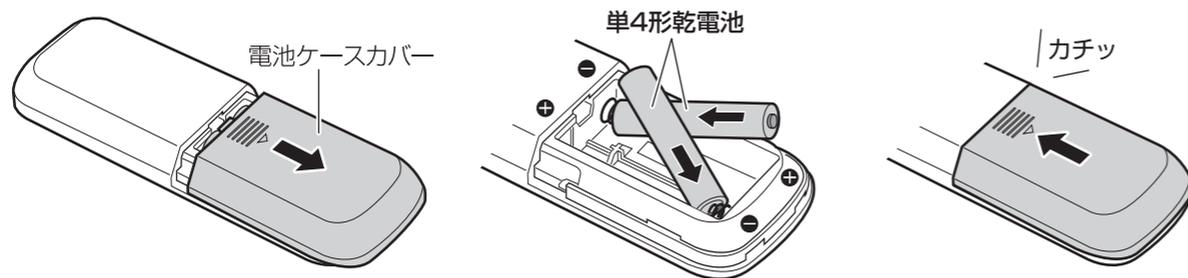
取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因となります。

#### ● 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出してください。

そのままリモコンの中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因となります。

- 1 電池ケースカバーを矢印の方向にスライドさせて取り外す
- 2 電池の極性(⊕と⊖)を確認し、電池を入れる
- 3 電池ケースカバーを矢印の方向にスライドさせて取り付ける

- 使用済みの電池はお住まいの地域の分別方法に従って捨ててください。



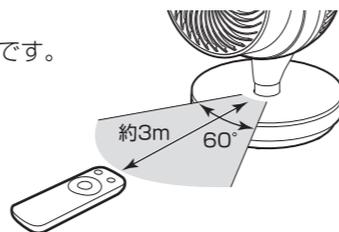
### お願い

- 操作しにくくなった場合は、電池を交換してください。
- 長期間リモコンを使わないときは、リモコンから電池を取り出してください。液もれの原因となります。

## リモコンの操作について

### リモコンの送信部を本体操作部に向けて操作します。

- リモコンで操作できる範囲は、本体操作部正面で約3m、左右に約60°以内です。
- 本体操作部に対し斜めになるほど操作できる距離は短くなります。
- 電池が消耗して動作しにくくなったなら、新しい電池に交換してください。
- ボタンの操作は中央部を押してください。端を押したり、ツメの先で押したりすると操作できないことがあります。



### お願い

- 本体操作部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。
- リモコンの送信部を隠さないでください。障害物があるとリモコンによる操作ができなくなります。
- サーキュレーター本体に触れているときなどは、リモコンを操作しないでください。
- リモコンを落としたり、踏まないでください。故障の原因となります。

# 設置する

## 設置について

ご使用目的に合わせて、本製品を正しく設置してください。

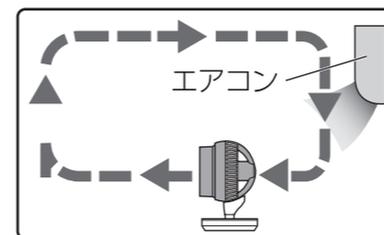
※設置する環境・条件により効果が異なります。

### 警告

- 直射日光の当たる場所や発熱器具の近くに置かないでください。樹脂部分が溶けて発煙・発火・火災の原因となります。
- 風をストーブなどの燃焼器具に向けて使用しないでください。不完全燃焼や炎の飛散により、一酸化中毒・故障・火災の原因となります。
- 浴室など高温多湿の場所や水のかかる場所では使用しない、保管しないでください。絶縁劣化による感電・漏電火災・事故の原因となります。

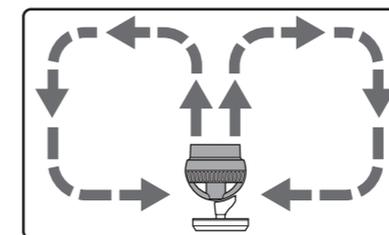
### 注意

- 本体は、水平で安定した場所に設置してください。不安定な場所で使用すると、転倒してけが・故障の原因となります。
- ガードを布・袋などで覆ったり、風の流れをさえぎるようなものの周囲で使用しないでください。過熱により故障の原因となります。
- 高温(40℃以上)・低温(5℃以下)・多湿になるところに設置しないでください。



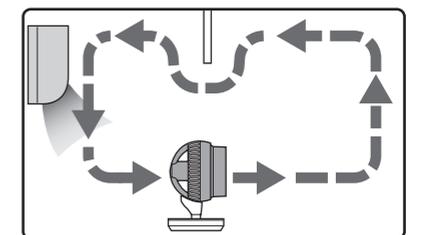
### 冷房を使用するとき

エアコンを背に設置し、床にたまる冷たい空気を循環させます。



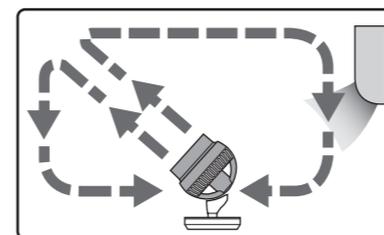
### 循環送風をするとき

空気が滞りやすい天井への送風や、首振り運転で、部屋の温度・湿度ムラを少なくします。



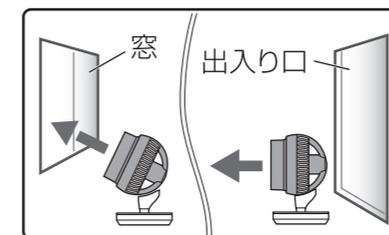
### 2部屋の循環送風をするとき

部屋の境界付近に設置し、通常運転で送風します。



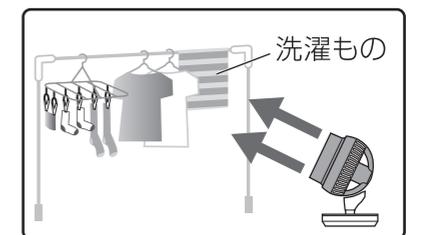
### 暖房を使用するとき

天井方向に風を送り、上に溜まる暖かい空気を循環させます。



### 換気送風をするとき

部屋の窓や出入り口付近に設置し、換気(空気の排出・取り込み)をします。



### 洗濯ものを乾燥するとき

洗濯もの間隔を広く干し、洗濯もの全体に直接風が当たるように設置します。

お使いになる前に

お使いになる前に

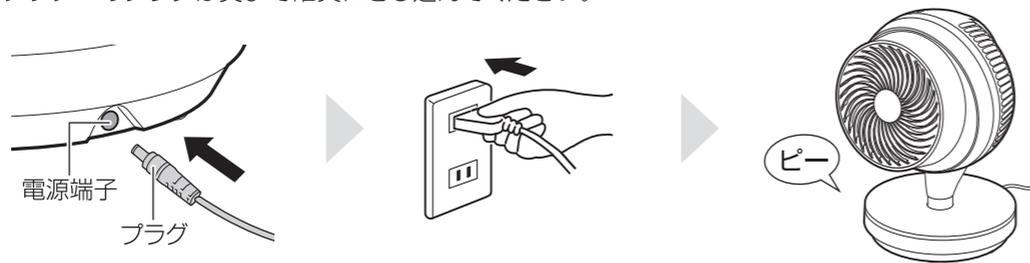
運転の前に

ご注意

- 電源コードの結束バンドは必ず外してください。
- 電源は交流100Vのコンセントを単独で使用し、電源プラグはコンセントの根元までしっかりさし込んでください。
- 運転中に停電したり、電源プラグを抜いた場合は、運転停止の状態になりますので、始めから操作をやり直してください。
- 通電中は操作部の一部があたたかくなりますが、マイコンなどの消費電力によるもので故障ではありません。そのまま続けてご使用ください。
- 本製品を不安定なところに設置しないでください。

電源アダプターのプラグを本体の電源端子に接続し、電源プラグをコンセントにさし込む

- “ピー” と鳴り、運転待機状態になります。
- 電源アダプターのプラグは奥まで確実にさし込んでください。



運転を開始/停止する ※本体の操作部とリモコンのどちらでも操作ができます。

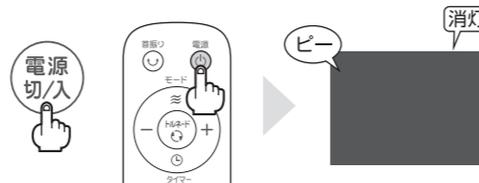
運転停止中に電源ボタンを押すと、運転を開始します。

- “ピー” と鳴り、前回で使用の運転状態で運転が開始されます。☞「メモリー機能について（下記）」参照
- 運転を開始すると、表示部に風量と室内温度を交互に表示します。しばらく経過すると表示部とランプは消灯しますが、運転は継続します。再び表示させるには、電源ボタン以外のボタンを押してください。



運転中に電源ボタンを押すと、運転が停止します。

- “ピー” と鳴り、すべての表示が消灯します。
- ※ 運転を停止したあともしばらくは、所定位置で停止させるため羽根の回転と首振り動作を継続します。動作が完全に停止するまではガードなどに触らないでください。



メモリー機能について

本製品は、運転を停止してもメモリー機能のはたらきにより、直前の運転状態や設定を記憶しています。再度運転を開始すると前回の運転状態で運転が開始されます。

※電源プラグや電源アダプターのプラグを抜いた場合でも、メモリー機能は維持されます。

切り忘れ防止機能について

本製品は、12時間無操作状態で運転すると、切り忘れ防止機能のはたらきにより自動で運転を停止します。

消灯機能

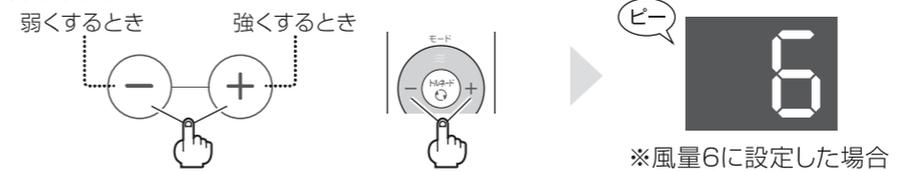
消灯機能により、無操作で表示部とランプが自動で消灯します。

- 運転は継続します。
- 表示部とランプが消灯しているときは、電源ボタン以外のボタンを押すと消灯が解除され、操作可能になります。
- リモコン操作するときも同様に、電源ボタン以外のボタンを押して消灯を解除してから操作をしてください。

風量を調節する

風量ボタン（-・+）を押して風量を調節してください。

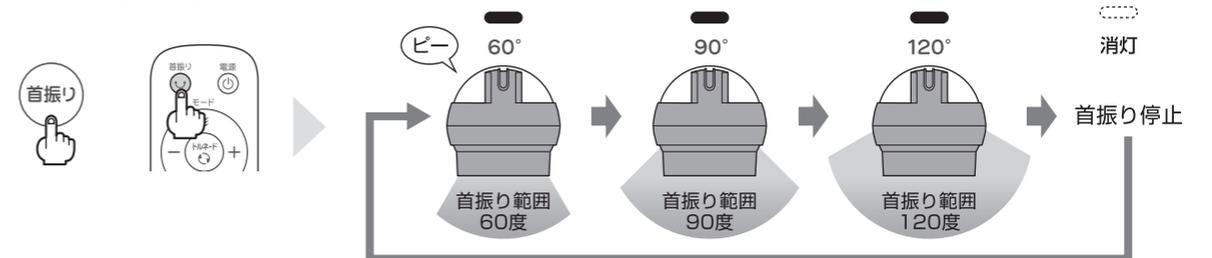
- “ピー” と鳴り、運転中の風量が表示部に表示されます。
- 風量は、「1」～「12」の12段階で順に切り替わります。
- ※ モード運転中は風量の調節ができません。モード運転中に風量ボタンを押すとモード運転が解除され、通常運転に切り替わります。



首振り運転をする

首振りボタンを押すと、左右の首振り運転を開始します。

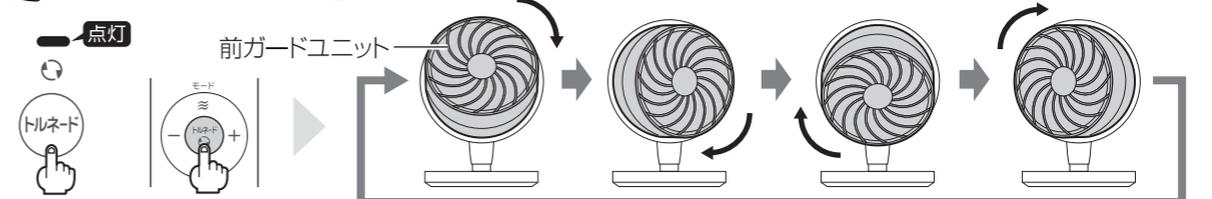
- “ピー” と鳴り、押すたびに首振り角度が「60°」→「90°」→「120°」→首振り運転停止→「60°」…と切り替わり、運転中の首振り角度をランプの点灯でお知らせします。
- トルネード運転と組み合わせると、より広範囲に送風できます。☞「トルネード運転をする（下記）」参照
- ※ 左右の風向き調節は、無理に手で回して行わないでください。けが・故障の原因となります。
- 上下の風向きを調節するときは、「上下の風向きを調節する（13ページ）」をご参照ください。



トルネード運転をする

トルネード運転の開始/停止を行うときは、トルネードボタンを押してください。

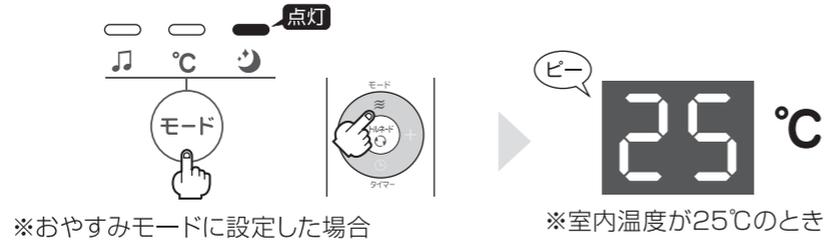
- “ピー” と鳴り、押すたびにトルネード運転が開始/停止します。
- トルネード運転を開始するとトルネードランプが点灯し、前ガードユニットが回転しながら送風します。部屋全体に送風するときなど、広範囲に送風するときにご使用ください。
- 首振り運転と組み合わせると、より広範囲に送風できます。☞「首振り運転をする（上記）」参照



モード運転をする (リズムモード・自動運転モード・おやすみモード)

モード運転を行うときは、モードボタンを押してください。

- “ピー” と鳴り、押すたびに「リズムモード」→「自動運転モード」→「おやすみモード」→モード運転解除 (通常運転) →「リズムモード」…と切り替わり、運転中のモードをランプの点灯でお知らせします。
- 運転開始後しばらく経過すると表示部とランプが消灯します。再度表示させるときは、電源ボタン以外のボタンを押してください。
- ※ モード運転中は風量の調節ができません。モード運転中に風量ボタンを押すとモード運転が解除され、通常運転に切り替わります。



リズムモード

- 表示アイコン: 「♪」
- リズムモードは、風量に変化をつけたリズムカルな風で運転します。
- リズムモードは首振り運転120°とトルネード運転で広範囲に送風します。設定は変更できます。
- リズムモードで運転中は、表示部に室内温度を一定時間表示します。

自動運転モード

- 表示アイコン: 「°C」
- 風量「5」で運転を開始したあと、運転開始時の室内温度に合わせて最適な風量を「0 (停止状態)」～「12」の範囲で自動で切り替えて運転します。(下記参照)
- 自動運転モードで運転中は、表示部に風量と室内温度を一定時間交互に表示します。



おやすみモード

- 表示アイコン: 「☾」
- おやすみモードは、風量「5」で30分間運転し、30分経過するたびに風量を段階的に下げて運転します。
- 風量が「1」になると、風量「1」で連続運転します。



タイマーの設定をする

設定した時間後に自動で運転を開始 (入タイマー) / 停止 (切タイマー) します。

タイマー機能について

- 「入タイマー」は、運転停止中に設定できます。
- 「切タイマー」は、運転中に設定できます。
- 「入タイマー」を設定したあとに「電源ボタン」を押すと、入タイマー設定が解除され、運転を開始します。
- 入タイマー設定時間/切タイマー設定時間は目安です。
- 入タイマー/切タイマーを設定後、停電したり、電源プラグを抜いた場合は設定が解除されます。始めから設定をやり直してください。

入タイマー設定

1 運転開始までの時間を設定する

- ① 運転停止中にタイマーボタンを押してください。
- ② “ピー” と鳴り、表示部に運転開始までの時間「0h」が点滅表示 (5 秒間) されます。点滅表示中に入タイマー時間の設定を行ってください。
- ③ 時間切り替えボタン (-・+) を押して、運転開始までの時間を設定してください。
  - 運転開始までの時間を1時間～12時間まで、1時間刻みで設定できます。



- ④ 設定後5秒 (点滅) 経過するかタイマーボタンを押すと、運転開始までの時間が設定され、風量設定表示に切り替わります。
  - 入タイマー設定を解除するときには、入タイマーを「0h」に設定するか、電源ボタンを押して運転の開始→停止を行ってください。

2 風量と運転方法を設定する

- ① 風量が点滅表示されます。好みの運転方法 (風量設定・首振り設定・トルネード設定・モード設定) に設定してください。
- ② 設定後8秒 (点滅) 経過するかタイマーボタンを押すと、“ピー” と鳴り、入タイマー設定が完了します。
  - 入タイマー設定後に再度設定を行うときは、電源ボタン以外のボタンを押して表示部とランプを点灯させたあと、タイマーボタンを押してください。表示部とランプが点滅に切り替わり再設定できます。



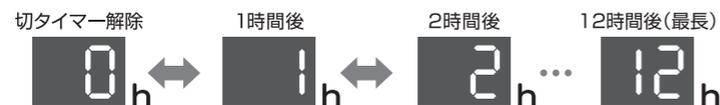
3 設定時間が経過すると“ピー”と音が鳴り、運転開始

- 入タイマー設定完了後しばらく経過すると、表示部とランプが消灯します。
- 消灯中に運転開始までの時間を確認するときなどは、電源ボタン以外のボタンを押してください。設定内容が表示されます。
  - ※ 運転開始までの時間はカウントダウン表示されます。

## 切タイマー設定

### 1 運転停止までの時間を設定する

- ① 運転中にタイマーボタンを押してください。
- ② “ピー” と鳴り、表示部に運転停止までの時間「0h」が点滅表示（5 秒間）されます。点滅表示中に「切タイマー時間」の設定を行ってください。
- ③ 時間切り替えボタン（-・+）を押して、運転停止までの時間を設定してください。
  - 運転停止までの時間を1時間～12時間まで、1時間刻みで設定できます。



- ④ 設定後5秒（点滅）経過するかタイマーボタンを押すと、運転停止までの時間が設定されます。
  - 切タイマー設定を解除するときは、切タイマーを「0h」に設定するか、電源ボタンを押して運転の停止→開始を行ってください。



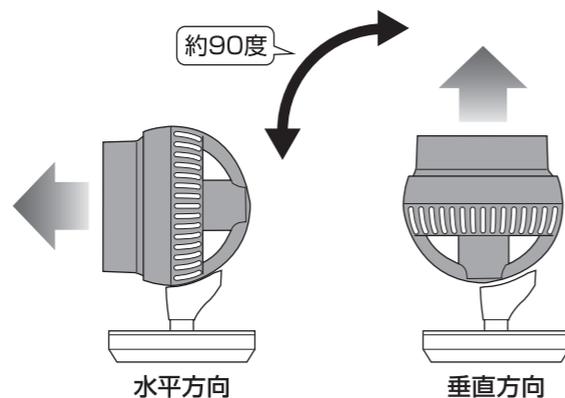
### 2 設定時間が経過すると“ピー”と音が鳴り、運転停止

- 切タイマー設定完了後しばらく経過すると、表示部とランプが消灯します。
- 消灯中に運転停止までの時間を確認するときなどは、電源ボタン以外のボタンを押してください。設定内容が表示されます。
  - ※ 運転停止までの時間はカウントダウン表示されます。

## 上下の風向きを調節する

風向きを上下に調節するときは、手で風向きを調節してください。上下に約90度の可動範囲で調節できます。

※ 上下の風向き調節を行うときは、電源を切り、動作が完全に停止してから行ってください。



## お手入れのしかた

### 警告

- 本体やリモコンに水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしないでください。感電・ショート・発火・故障の原因となります。
- ガードやすき間にピンや針金などの金属物、異物を入れないでください。感電・けが・故障・破損の原因となります。
- お手入れ・持ち運び・収納の際は、必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。不意に動作してけがをしたり、感電・発火・火災・故障の原因となります。

### 注意

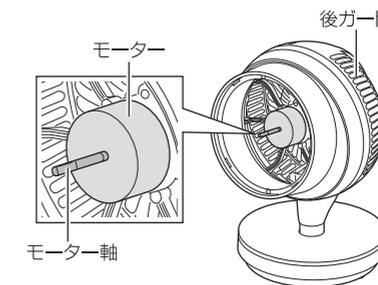
- お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しないでください。製品の変質や劣化による故障・破損・けがや事故の原因となる場合があります。お手入れはぬるま湯か台所用中性洗剤などを使用してください。

### ご注意

- 運転停止後は、モーター軸が熱くなっています。取り外しやお手入れは、30分程度待ってモーター部が冷えてから行ってください。

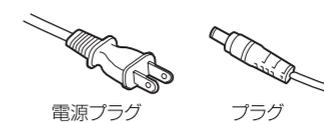
## 本体・ガード・羽根

- お手入れは定期的に行ってください。ガードや本体にホコリが多量に付着すると、異常音・振動・モーターの過熱の原因となります。
- 本体の表面・ガード・羽根のお手入れは、水を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いてから、乾いた布で拭いてください。汚れが落ちにくいときは、ぬるま湯または水でうすめた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いたあと、洗剤を拭きとってください。
  - ※ ガード・羽根は取り外してからお手入れを行ってください。
  - ☞ 「ガード・羽根の取り外しかた／取り付けかた（15ページ）」参照
- モーター部や稼働部分のすき間に付着したホコリなどは掃除機で吸いとってください。
- モーター軸のお手入れは、汚れを取り、さび防止のためミシン油を薄く塗ります。



## 電源アダプター（電源プラグ・プラグ）

- 電源プラグの刃および刃の取付面や電源アダプターのプラグにホコリが付着している場合は乾いた布で拭きとってください。



## リモコン

- 柔らかい布で拭きとってください。



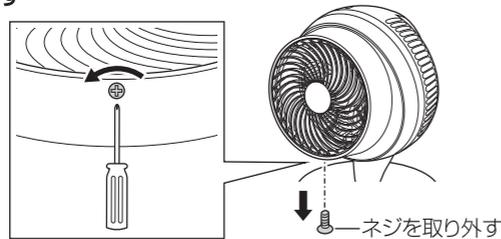
長くご愛用いただくために

# お手入れと収納のしかた

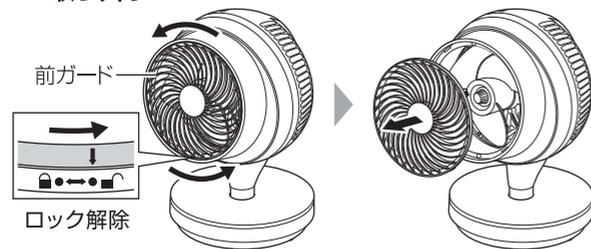
## ガード・羽根の取り外しかた／取り付けかた

### 取り外しかた

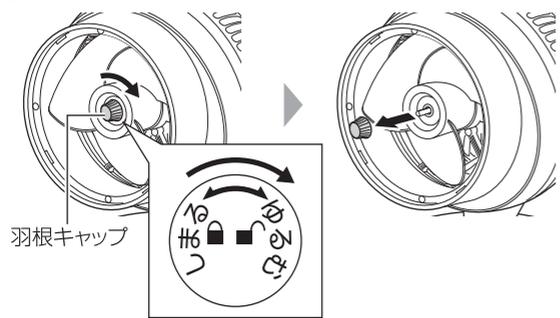
**1 前ガードユニット下のネジをドライバーで取り外す**



**2 前ガードを「 (ロック解除)」方向に回して取り外す**

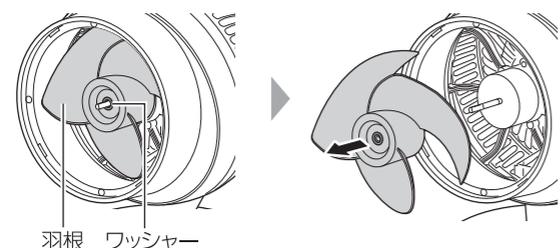


**3 羽根キャップを「ゆるむ」方向に回して取り外す**



**4 羽根とワッシャーをモーター軸から引き抜く**

●ワッシャーをなくさないようご注意ください。



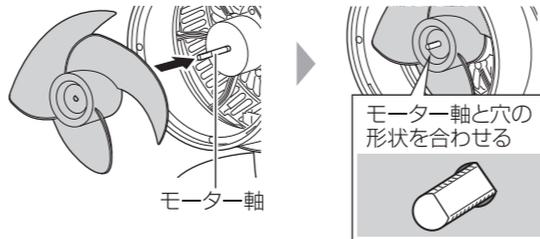
### 収納のしかた

長期間使用しないときは、お手入れを行ったあと本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない湿気の少ないところに保管してください。

### 取り付けかた

**1 羽根をモーター軸にさし込む**

●形状を合わせて奥まで確実にさし込んでください。

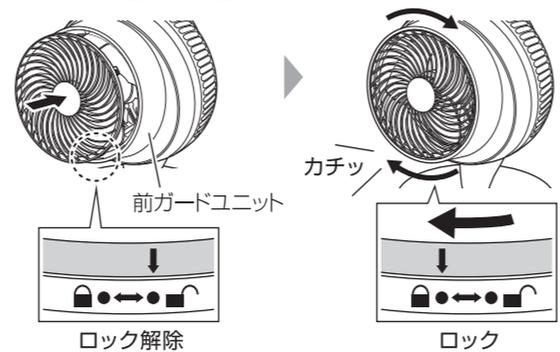


**2 ワッシャーをモーター軸にさし込み、羽根キャップを「しめる」方向に回して取り付ける**

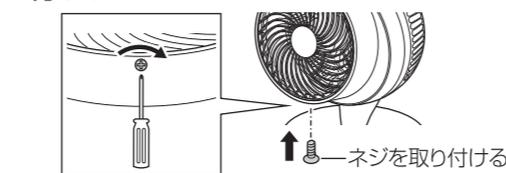


**3 前ガードを前ガードユニットに取り付け、「 (ロック)」方向に回して確実に取り付ける**

●ロック位置まで回して確実に取り付けてください。



**4 前ガードユニット下のネジをドライバーで取り付ける**



# 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお確かめください。

症状	確認してください	処置の方法	参照ページ
電源ボタンを押しても運転されない	電源プラグはコンセントに確実にさし込まれていますか？	電源プラグをコンセントに確実にさし込んでください。	9
	電源アダプターのプラグは本体の電源端子に確実にさし込まれていますか？	電源アダプターのプラグを本体の電源端子に確実にさし込んでください。	9
リモコンで動作しない(ときどき動作しない)	距離が遠すぎませんか？	受信範囲で操作してください。	7
	電池が消耗していませんか？	電池を交換してください。	7
	電池の入れかた(⊕⊖の方向)が間違っていないですか？	電池を正しく入れ直してください。	7
運転中の音が異常に大きい	インバーター照明器具や電子瞬時点灯照明器具または、直射日光など、強い光が当たる場所で使用していませんか？	向きや位置を変えてください。	7
	羽根はしっかりと取り付けられていますか？	羽根をしっかりと取り付けてください。	15
表示ランプが消灯する	ガードはしっかりと取り付けられていますか？	ガードをしっかりと取り付けてください。	15
	羽根にゴミが付着していませんか？	羽根のお手入れをしてください。	14
リズム風や首振り運転中などの音が気になる	しばらく操作していませんか？	消灯機能によるもので、異常ではありません	10
風量が増えるときの回転音が気になる	モーターや首振りモーター、風量が切り替わる時に運転音が聞こえる場合があります。	異常ではありません。	-
首振りするときの動作音が気になる	風量が一時的に強まるとき、モーターから「ウィーン」、「ウォーン」と、モーター特有の音が聞こえる場合があります。	異常ではありません。	-
モード運転ができない	首振りモーター特有の音で、「カタカタ」、「コトコト」という音が一時的に強まることがあります。	異常ではありません。	-
自動で運転停止した	モード運転中に風量切り替えボタンを押していませんか？	モード運転中は自動で風量を調節するため、風量調節ができません。	10・11
操作部やその周囲があたたかい	切タイマーを設定しませんでしたか？	切タイマーを設定すると、設定時間経過後、自動的に運転を停止します。	13
	12時間以上操作していませんか？	切り忘れ防止機能のはたらきにより、自動的に運転を停止します。	9
	ボタン操作やランプの表示は正常ですか？	異常ではありません。内部の基板の消費電力の熱量の影響です。	9

点検後、異常がある場合は、ご自分で修理しないでお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。詳しくは、18ページの「修理サービスについて」をご参照ください。

長くご愛用いただくために

長くご愛用いただくために

# 仕様

品名	DCサーキュレーター		
品番	RAFC-R14J2		
定格電圧	100V 50/60Hz	質量	約 3.1 kg
消費電力	20W	首振り角度	左右約 45 度
風量調節	12段階	コードの長さ	約 3.0 m
タイマー	入タイマー・切タイマー	切り忘れ防止機能	あり(12 時間)
外形寸法	幅 250 × 奥行 250 × 高さ 410 mm		
付属品	リモコン・単4形 乾電池 (動作確認用) × 2個		

- \*…風量「12」、首振り運転時の値です。  
 ●運転停止時の本体消費電力は約1.0 Wです。  
 ●仕様は改良のため予告なく変更することがあります。  
 ●この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY

## 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

### 本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

	<b>【製造年】 本体に西暦 4 桁で表示してあります</b>
	<b>【設計上の標準使用期間】 4 年</b> 設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

### (設計上の標準使用期間とは)

- ※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。  
 ※設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

### ● 標準的な使用条件 日本工業規格 (JIS C9921-1) による

環境条件	電圧	AC 100 V
	周波数	50/60 Hz
	温度	30 ℃
	湿度	65 %
	設置条件	本書に基づく組み立ておよび設置
負荷条件	本製品の最大定格で運転	
想定時間	1日あたりの使用時間	8h/日
	1日使用回数	5回/日
	1年間の使用日数	110日/年
	スイッチ操作回数	550回/年
	首振運転の割合	100%

注記 環境条件の湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。

- 「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

## 愛情点検 長年ご使用のDCサーキュレーターの点検を！

	こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体が変形したり、異常に熱い。</li> <li>●電源コード・電源プラグ・電源アダプターが変形・変色・損傷している。</li> <li>●電源コードの一部や電源アダプター・電源プラグがいつもより熱い。</li> <li>●電源アダプターのプラグ・電源コード・電源プラグを動かすとランプが点灯したり、しなかったりする。</li> <li>●異常なおいや音、振動がする。</li> <li>●ビリビリと電気を感ずる。</li> </ul>	こんなときは	使用を中止してください。 故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検をご相談ください。
	こんなことはありませんか	電源プラグにホコリやゴミが溜まっている。		ホコリやゴミを取り除いてください。

## 修理サービスについて

### (1) 保証書

- この製品には、保証書がついています。保証書は、お買い上げの販売店で『販売店名・お買い上げ日』等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。なお、製品の修理以外の保証はいたしかねます。保証期間は、お買い上げ日より本体 1 年間です。

### (2) 修理を依頼される時

- 保証期間中は内部機構をさわらずに（保証期間外の場合でも内部はさわらないでください）お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
- 保証期間が過ぎているときはお買い上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

### (3) 補修用性能部品の保有期間

このDCサーキュレーターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打切後8年です。

### (4) ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

- お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

### (5) 修理サービスについてご不明な場合

- 修理サービスや製品についてのご相談は、お買い上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にお問い合わせください。
- ご転居やご贈答品等でお困りの場合は、株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にお問い合わせください。

## 株式会社ヤマダホールディングス

### お客様相談室や保証書におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- お客様相談室でお受けした個人情報、保証書にご記入いただいた個人情報は、商品、サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために株式会社ヤマダホールディングスおよび関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては株式会社ヤマダホールディングスと同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。

長くご愛用いただくために

長くご愛用いただくために